

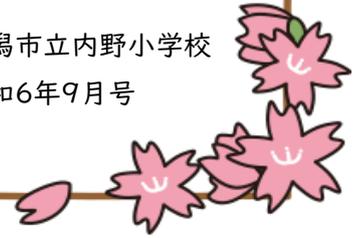


やさしさあふれる さくら学校

さくらだより

新潟市立内野小学校

令和6年9月号



ひとつのことばを大切に

校長 山田 里恵子

全校朝会で、北原白秋の詩「ひとつのことば」を取り上げました。言葉の大切さを子どもたちに伝えたいと考えたからです。

「言葉には、ひとつの心があり、言葉は、使う人そのものを表す」と言われています。詩を提示し、読み聞かせた後に1枚の画用紙を見せ、軽く、くしゃっと握りました。開くと画用紙はくしゃくしゃになっていました。そして、どんなにのばしても、くしゃくしゃの跡は消えないことも実際に見てもらいました。

「この紙の跡は、嫌な言葉を言われて傷ついた人の心を表しています。心の傷は、その後もずっと残るのです。言った人が、『軽い気持ちで』『そんなつもりはなかった』と話すことがあります。だからこそ、相手の身になって言葉を大切に使う必要があるのです」と子どもたちに話しました。そして、「ひとつのことばで心が痛む」「ひとつのことばで泣かされる」そんな言葉を使っていないか、自分自身を振り返ってほしいと投げ掛けました。

たった一つの言葉で人は傷つき、たった一つの言葉が人を幸せにする。言葉には、大きな力があります。相手の気持ちを考えて言葉を使い、よりよい人間関係を築いてほしいと子どもたちに伝えました。

今後も、自分のため、相手のため、周りのために、言葉を大切する心を育てていきたいと考えています。

「ひとつのことば」 北原白秋の詩

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなか
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を もっている
きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを 大切に
ひとつのことばを 美しく

<パリオリンピック フェンシング日本代表 古侯 聖選手が来校しました>



9月9日、当校出身でパリオリンピックフェンシング エペ日本代表の古侯聖選手が来校しました。スポーツ委員会の子どもたちがセレモニーの準備をしました。

セレモニーでは、全校児童が拍手で古侯選手を出迎え、子どもたち一人一人が書いたメッセージを渡しました。そして、代表児童が「古侯選手、銀メダルおめでとうございます。内野小学校出身で、先輩の古侯選手がメダルを獲得して、とても嬉しいです。これからも応援しています。僕たちも目標をもち、あきらめずに頑張っていきます」と挨拶しました。

古侯選手からは、「内野小学校で勉強したり、全校集会で集まったりしていました。懐かしい校舎で、こんなにたくさんの皆さんにお祝いしてもらい、こんなにたくさんの子どもたち一人一人がメッセージを書いてくれて、本当に嬉しいです。メダルを取れたのも、皆さん一人一人が応援してくれたおかげだと思っています」という言葉をいただきました。内野小学校の先輩が夢を実現し、世界で活躍する姿に、子どもたちは勇気をもらい、夢や目標に向かってあきらめずに努力する大切さを実感することができました。



<内野祭りに参加しました～4年生～>

4年生は、総合的な学習の時間で、地域が大切に守ってきた内野祭りについて調べ、内野祭りを盛り上げるために、自分たちにもできることを考えました。そして、子ども屋台を出したり、民謡流しに参加したりしました。当日に向けて、射的、10秒チャレンジ、スーパーボールすくい、スライム作りと、大人も子どもも楽しめる遊びを考えたり、地域の方から踊りを教えていただいたりしました。当日、子ども屋台では、保護者の皆様、地域の皆様など、たくさんの方々が来てくださり、大盛況でした。民謡流しでは、長い時間でしたが最後まで楽しく踊ることができました。子どもたちが祭りに参加したことで、例年以上にたくさんの方々が祭りに訪れたとのこと。子どもたちは、自分にできることを考え実行したことで、地域が盛り上がった達成感と満足感を味わうことができました。



<U-17アメリカ代表選手と交流しました～5年生～>

「国際ユースサッカーin 新潟」のため来日した U-17アメリカ代表選手と5年生が交流しました。

選手を拍手で迎えた後、代表児童が歓迎の言葉を述べ、選手代表から挨拶をいただきました。その後、質問コーナーがあったり、技を披露していただいたり、じゃんけん列車やパス回し、ミニゲームで交流をしたりしました。交流するうちに、ハイタッチをしたり、握手をしたり、笑顔を交わしたりと、心と心がつながっていきました。子どもたちは、選手の話に真剣に耳を傾け、素晴らしい技に心から拍手を送り、ゲームを全身で楽しみました。



アメリカ代表選手から、日頃から、コミュニケーションや日々の努力を大切にしていることを教えていただき、今後の学校生活を送る上での励みとなりました。



<なかよしウォーク ありがとうございます>

9月26日(木)に、なかよしウォークを実施しました。当校の重点目標「かかわる力・やり切る力(協働・自律)の育成」に向け、「優しい声掛けをする」「力を合わせる」「最後まで歩く」「きまりを守る」の4つの目標を子どもたちとも共有しました。班で力を合わせ、地域について学ぶ課題に取り組みながら歩くことを通して、課題解決力の育成やよりよい人間関係づくりを行います。なかよしウォークに向け、6年生の素晴らしいリーダーシップのもと、打ち合わせや準備を進めました。

当日は、総勢60名の保護者、地域、大学生のボランティアの皆様が参加し、各班1人ずつ付き、温かく支援してくださいました。おかげで、子どもたちは安心して活動することができました。感謝申し上げます。

6年生が、班の様子を見ながら、下学年に優しく声を掛け、励ます姿が見られました。5年生は、6年生を上手にサポートしたり、帰校後の班の遊びを企画し、上手に進行したりしました。下学年は、上学年の話を聞いてすぐに並び、最後まで歩き通しました。班で協力して課題に取り組んだり、自分の役割を考えて行動したりすることの大切さを再確認したと思います。上学年が下学年をリードする姿は、内野小学校のよき伝統です。

